

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	2-3	政策名	防災危機管理体制の充実	政策の 目指す姿	災害や様々な危険から守られ、暮らしています。	施策 主管課	消防本部総務課	施策主管 課長名	笹間 利美
	施策No.	3	施策名	消防力の強化	施策の 目指す姿	火災から守られています	関係課名	警防課、予防課		
	現状と課題	・東日本大震災を契機に、災害に対する迅速な対応など消防に対する信頼と期待がさらに高まっています。 ・少子高齢化や就業構造の変化により、消防団員の確保・活動参加が難しい状況であり、消防活動に参加しやすい環境づくりが重要です。 ・住宅火災の主な要因としては、火気取扱いの不注意が挙げられることから、市民一人ひとりの防火意識を高めなければなりません。 ・火災件数は、全国平均より多くなっており、本市の特徴として、野火による火災が依然として多く発生していることが挙げられます。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1)消防施設等の整備	
○消防施設等の整備、更新	・消防体制の充実強化を図るため車両更新整備
○消防水利、消防団施設等の整備、更新	・消火栓の設置及び移設、耐震性防火水槽の設置
○消防職員の育成	・岩手県消防学校入校
(2)地域消防力の向上	
○消防団員の確保	・消防団活動を市民にPRし、団員数の増加対策を実施
○消防団組織の見直し	・消防団組織等見直し委員会の開催
○消防団活動環の整備	・防火服等、活動装備の更新
(3)防火意識啓発と安全管理の強化	
○事業所や市民を対象とした防火意識の普及啓発	
○防火対象物の査察、指導	
○乾燥時季の火災予防啓発	

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
火災件数(暦年)	火災予防に対する市民意識を示す指標	消防は火災を予防し、国民の生命、身体、財産を火災から保護することを目的にしていることから、指標として火災件数を設定するものである。	件	目標値				40	40	40
				実績値	61	55	52	56	50	47
消防団員の充足率	地域における消防力を示す指標	充足率=年度当初の消防団員数/条例で定める定数(2,142)	%	目標値				93.0	95.0	97.0
				実績値	93.0	93.0	91.0	90.5	89.4	89.6
住宅用火災警報器の設置率	火災予防に対する市民意識を示す指標	年度末の設置率を指標とする。	%	目標値				80.0	82.0	84.0
				実績値	77.4	77.6	78.4	80.3	82.0	83.7

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「火災件数(暦年)」・・・【達成度c】 前年度火災件数を下回ったが、たき火、火入れ行為の不始末に起因する火災が多く発生したことから、目標値を実績値が上回った。</p> <p>■成果指標「消防団員の充足率」・・・【達成度b】 社会環境の変化(少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化)により、消防団員充足率を向上させることは難しい。</p> <p>■成果指標「住宅用火災警報器の設置率」・・・【達成度b】 必要性や奏功事例を市民に説明し設置推進を図ったが、わずかに目標値に達することができなかった。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	火災予防充実強化事業	消防本部予防課	A	C
	岩手県消防学校火災調査課入校2名、消防フェスティバル来場者1,500人、防火講話会(419回)、火災予防巡回広報(1,211回)、防火対象物査察(1,196件)、危険物施設査察(263件)、広報誌等(9回)、コミュニティFM(30回)			
2	消防拠点施設等整備事業	消防本部警防課	A	B
	花巻北消防署に小型動力ポンプ付5トン水槽車1台の新規整備、花巻中央消防署の指揮車1台、花巻南温泉分遣所の高規格救急車1台の更新整備			
3	消防団員育成強化事業	消防本部総務課	A	B
	消防団員への教育、研修(岩手県消防学校入校23名)。消防演習の実施。団員への被服新規貸与、経年劣化による被服の更新貸与、防火服の更新、防塵マスクの配布、現場用ホースの更新60本。学校入校により消防団員知識技能を高め、活動の安全を向上させるため防火服、防火ヘルメット等を28年度から3カ年で整備			
4	消防団施設等整備事業	消防本部総務課	A	B
	消防屯所更新1棟、公共下水道接続工事1棟、消防ポンプ車更新1台、小型動力ポンプ軽積載車更新1台、小型動力ポンプ積載車更新1台、小型動力ポンプ更新4台			
5	消防水利維持管理整備事業	消防本部警防課	A	B
	消火栓の維持管理、消火栓等の水利施設整備(消火栓維持管理2,010基、消火栓設置8基、消火栓移設1基、管換え工事に伴う消火栓設置2基、耐震性防火水槽設置2基)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・平成28年1月から「花巻市消防団応援事業」を実施し、団員の加入促進に取り組んでおり、現在、民間122事業所の協力を得て各種サービスや割引等の提供を受けているが、平成29年度から岩手県において、本市と同様の団員優遇制度を全県的に構築することが予定されていることから、県と連携を図り、登録事業所の増加に取り組んでいく必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

なし

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・強風時、乾燥時に「たき火」や「草焼き」など、人の不注意による火災が多発していることから、屋外における火の取り扱いに関する注意喚起、指導が必要。
- ・設置から10年を経過した住宅用火災警報器は取替を要することから、説明と理解を図ることが必要。
- ・少子高齢化、就業構造の変化などにより、消防団員の確保が難しくなっている。

(今後の方向性)

- ・火災件数の抑制と被害軽減に向け広報活動を強化し、市民の防火意識の向上を図る。
- ・防火講話会等の機会を通じて、住宅用火災警報器の、維持管理に関する説明及び未設置世帯に対する設置促進を行い、広く市民の理解を図る。
- ・消防団員確保のため、消防団員優遇制度等をPRし、団員募集活動を進め地域消防力の向上に繋げていく。